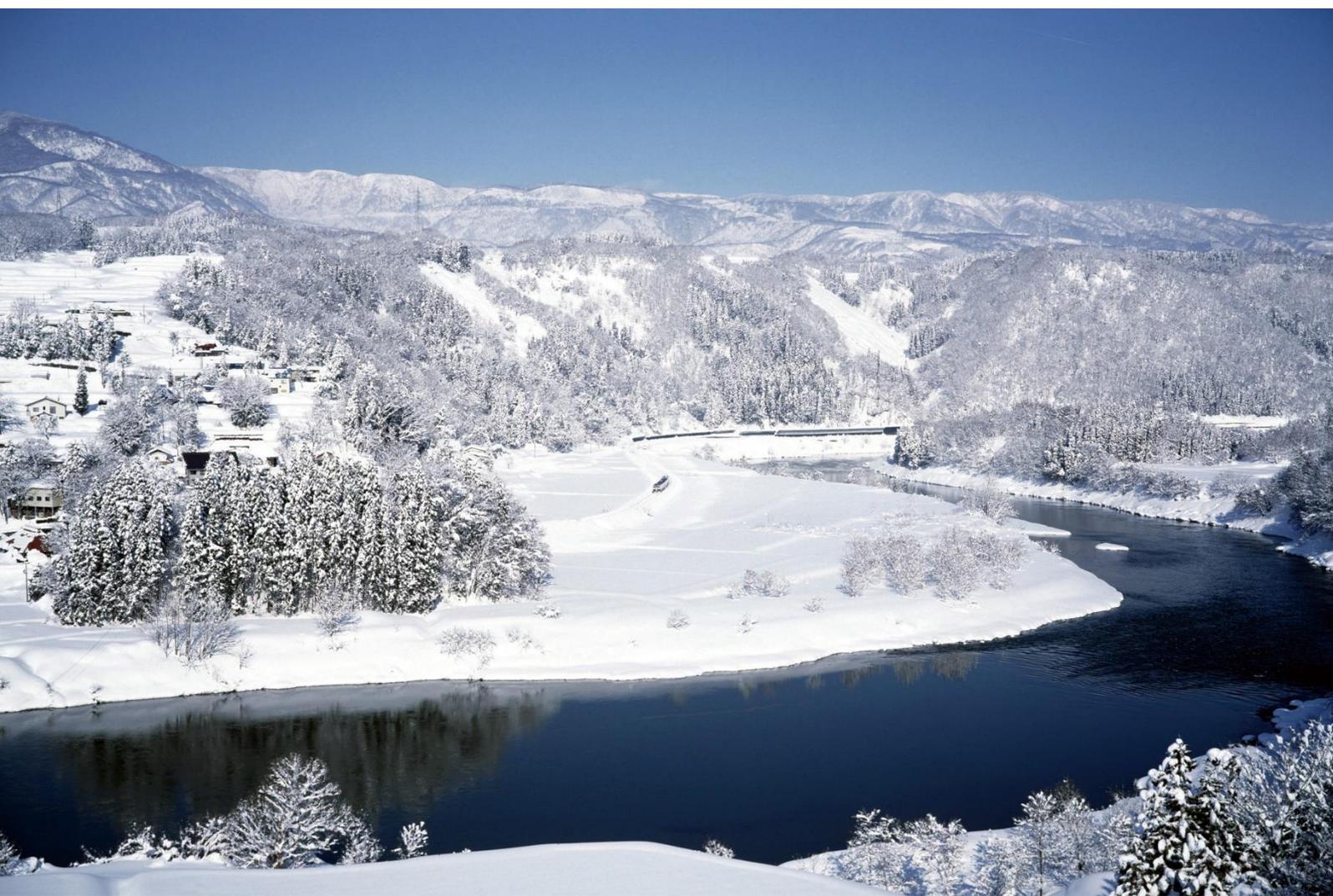


2018.2.15

支 部 通 信

No 73



長野県電気工事業工業組合長野支部
合同会社長野電気引込工事センター

目 次

				ページ
1	Top Message	支 部 長	大田 敬壹	----- 1
2	ご 挨拶	中 部 電 力 株 飯 山 営 業 所 所 長	手塚 高典	----- 3
3	地 区 だ よ り	中野・飯山地区長	玉木 新二	----- 4
		長 野 東 地 区 長	町田 幸司	----- 5
		長 野 西 地 区 長	伊東 敬晃	----- 6
		更 埴 地 区 長	酒井 重喜	----- 7
		須 高 地 区 長	竹前 廣克	----- 8
4	センターからのお知らせ	セ ン タ ー 長	中村 和久	----- 9
5	フ リ ー ト ー ク	更 埴 地 区	峯村 孝則	----- 10
		須 高 地 区	藤沢 一也	----- 11
		長 野 西 地 区	堀内 秀樹	----- 12
		長 野 東 地 区	渡 部 進	----- 13
		中野・飯山地区	村石桂太郎	----- 14
6	技能オリンピック大会特集 P16～	選手のメッセージ		----- 18
		店主のメッセージ		----- 20
7	編 集 後 記	総 務 委 員 長	竹前 廣克	----- 23

(敬称略)

♪ 表紙写真 ♪

「雪の奥信濃と千曲川」

連日の雪がようやく止み、久々に快晴にめぐまれた貴重な冬の日。
降り積もった雪をかき分けるように、ゆっくりとローカル線が走ってゆく。
その脇をゆったりと蛇行しながら流れゆく千曲川。
遙か関田山脈の向こうは新潟県上越市。
菜の花とおぼろ月夜でも有名な、百花繚乱の春が待ち遠しい。

写真撮影：高津 和忠 氏



「賢者の贈り物」

～ 三つの坂 ～

支部長 大田 敬壹

改めて、新年のご挨拶を申し上げます。また、平素は長野県電気工事業工業組合長野支部並びに長野電気引込工事センターの活動・運営に暖かいご指導とご理解を賜り、心から御礼を申し上げます。

昔から人生には三つの坂があるといえます。一つ目は「上り坂」、二つ目は「下り坂」、三つ目は「まさか」の坂。今までは他人事のように思っていたのですが、去年は引込工事における無断工事という「まさか」の坂が、当センターで連続して発生してしまいました。振り返るとそこに共通していたことは、社内のコミュニケーション（連絡・確認）不足とコンプライアンスの希薄というものでした。普段、誰もが規則を守らなければいけないことを当然のことだと思っています。ところが現場で不測の事態や忙しさに追われた時、「昔は出来たからという思い込み」もあって、無断工事という不祥事（事故）が発生します。我々の業界は、電力の自由化などもあって、大きな構造改革があり、組織形態・資格・ルールが急速に変わりました。そのため我々は、以前と全く異なる環境で日々仕事をしています。車の運転と一緒に、ちょっとした見落とし、不注意が大きな事故に繋がることもあります。そして一部の不祥事（事故）であっても、お客様からの「信頼」を失うこととなります。そのため会員の皆様には、是非、無断工事を起こさない細心の注意を図って頂きたいと思えます。更に当センターでもコンプライアンスを中心とした「信頼」の「再構築」に努めたいと考えています。

また、その不祥事（事故）に関連した定例会・事故報告会で、私の説明が言葉足らずだというご指摘を多く頂きました。そのことに対し改めて会員の皆様にお詫び申し上げます。

さて、去年は、技能オリンピックが開催されました。更埴地区に担当頂き、結果は優勝・準優勝を逃しましたが、選手の皆さんにとっては、挫折もしかり、大切な経験をされたと思います。これを糧にさらなる高みを目指して、将来の電気工事業界で活躍されることと思います。ご苦労様でした。

最後になりますが、会員の皆様からは日頃から新增設の引込工事の依頼、中部電力様からは引込線点検改修工事（劣化張替）等のご発注を頂き、また専門班様のお蔭で長野電気引込センターも、順調な運営ができたように思います。改めて感謝を申し上げます。

《付録》 クリスマス物語に、こんな話があります。＜若く貧しい夫婦がいました。夫はジム、妻はデラといいました。この二人には、大変自慢するものが二つありました。一つはジムが祖父と父の代から譲り受けた形見の金時計。もう一つはデラの膝までとどく長く美しい髪でした。そしてクリスマスイブのこと。二人は、互いにクリスマス

に何を贈ろうかと思案します。ただお金がありません。そして、デラは、二人が自慢する長く美しい自分の髪を売って、夫の金時計につける『鎖』を買います。一方、ジムは、大切にしていた金時計を売って、妻の美しい髪を飾るため、妻が長いこと憧れていたブロードウェイの飾り窓の中にある美しい『鼈甲の櫛』を買います。家に戻ったジムは、妻の髪を見て驚き呆然とします。その姿を見て恐ろしくなったデラは、夫の方に歩み寄りいます。「髪はまたすぐ伸びるわ。私の髪の毛の一本一本まで神様には数えられるけど、私のあなたへの愛は、誰にも数えることができないわ」・・・>（毎日新聞の余録を参考）



さて、この物語は「賢者とは何か」を問います。これはオー・ヘンリーの短編小説「賢者の贈り物」のあらすじです。オー・ヘンリーはさらに何度も繰り返します。「この夫婦は、大切な物をなくし、愚かだったのか、それとも賢明だったのか」・「このような人たちこそが、最高の賢者なのだ」と。そして「思いやる心」の大切さと、「人生をどう生きるのか」を説きます。

昨年の日本では、有力企業によるデータ改ざんや無資格検査などの「不祥事」が相継ぎ発生しました。もし、今の時代に「落し物」があったとすれば、この「思いやる心」と「人生をどう生きるか」なのかもしれません。世界でも、日本でも、今、そこが薄れてきているのかもしれません。お正月やクリスマスを迎え、そんなことをふと立ち止まって、考えてみることも良いのではないのでしょうか。

今年は戌年です。風雪の中でも、駆け回る子犬を見ると心が温まるように、本年が皆様にとりまして「福德円満」の一年を過ごせますように、心からお祈り申し上げます。



1月24日 長野支部新年会 メトロポリタン長野にて



ご挨拶

中部電力株式会社
飯山営業所長 手塚 高典

初春の候 会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は、弊社事業に格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は長野電気引込工事センター様において、大きな組織変更のあった年でありました。長水地区の再編、中野・飯山地区の統合という変化にも支部・各地区の役員様を中心に円滑に進めていただいたことに改めて感謝申し上げます。弊社といたしましては、引き続き定例会等の場を通じ皆様とのコミュニケーションを図って参る所存でありますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

本年の弊社組織に目を向けますと、既に昨年11月末にプレスリリースをいたしました。4月1日から「社内カンパニー制」を導入することとなりました。

「何が変わるの?」という疑問をお持ちの方もいらっしゃると思いますので、若干説明をさせていただきます。

「電力小売の自由化」以降、弊社は大きな事業環境変化の真っ只中にあり、この対応として「社内カンパニー制」を導入し、発電・送配電・小売の事業毎に目標や収支の管理を独自に行うことにより、迅速な経営判断と自律的な事業運営を目指すものです。

具体的には、「発電カンパニー」「電力ネットワークカンパニー」「販売カンパニー」の3つに再編され、会員の皆様に馴染み深い営業所は「電力ネットワークカンパニー」に属し、「支店」の呼び名は「支社」となり、正式名称は「中部電力(株)電力ネットワークカンパニー長野支社〇〇営業所」となります。

「だから、どう変わるの・・・?」という声が聞こえてきそうですが、28年4月の時点で営業所の機能は既にネットワーク業務に特化されており、今回の再編に伴う担当業務に変更はなく、お客さまがいずれの小売会社から電気を購入しようとも、配電設備の建設・維持を担う営業所の使命が各地域の「電力安定供給」であることに変わりはありません。従いまして、引込線等の接続工事をお願いする引込工事センター様の重要性も変わることはありませんので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「電力安定供給」は、今後においても「人による作業」の存在なしには成り立たず、その作業の基本は「安全第一」であります。本年も会員の皆さまを始め、関係者全員が無事故・無災害で過ごすことができますよう、一人ひとりが安全への取り組みを積み重ねていくことをお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



地区だより



中野・飯山地区



合併報告

中野・飯山地区長 玉木 新二

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく申し上げます。

去年の4月に中野地区と飯山地区と合併して10ヶ月が過ぎました。予定していた保護具・防具の耐圧試験また測定器校正試験は運用に伴いセンター所有の標準器にて実施しました。昇降柱訓練なども無事終わることができました。また、市・町の協力により電気使用安全月間で高齢者住宅配線診断は、中野ブロック（中野地区11軒、山ノ内地区17軒）飯山ブロック（飯山地区50軒）と多くの配線診断を行いました。高齢者の皆様に、お礼をいただき感謝されました。私たちも大変嬉しくやりがいを感じました。役員、会員の皆様に協力していただきありがとうございました。

課題でありました現場パトロールについては中野電機工業(株)にお願いし、中部電力(株)飯山営業所、役員の皆様で実施しました。9店の店舗パトロールを計画どおり実施できました。1月には合同の定例地区会（新年会）を実施し親睦ができました。今後地区の活動として2月に中野・飯山合併記念親睦研修旅行を計画しています。三月には、初めての安全大会を計画しています。

中野・飯山地区におきましては事故もなく1年が過ぎました。これからも事故は起こさないよう地区として安全作業徹底し、会員の皆様と無事故で本年も乗り切りたいと思います。



北信ローカル掲載
写真は玉木地区長

「安全」につながる 大切なルール

長野東地区



長野東地区長 町田 幸司

新年明けましておめでとうございます。平成30年のスタートです。節目となる年ですが記憶に残る素晴らしいよい年にしたいものです。

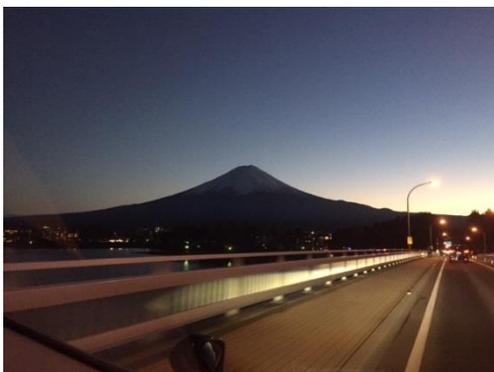
さて地区編成がされ早くも一年が過ぎようとしています。東地区の地区長を任され特に大した事もしないまま二年目を迎えます。このままでは職務放棄になるので地区長らしく皆様をお願いしたい事を書かせて頂き、年頭のご挨拶に代えさせて頂きたいと思えます。

一つ目は定例会議の出席率の事です。旧長水地区のブロック編成の時は各ブロック長からの連絡も徹底されていた為、かなり高い出席率でしたが、本年度は自社施工の減少と規制に伴い少し定例会議を軽視してはいませんか？ 引込センターに頼り切っていませんか？ 労働災害・交通安全・新商品の講話は自分の知識として、中部電力からの連絡事項は技術向上及び自店のスキルアップに役立ててください。インターネット申し込みにはまだかなりの改善点があります。組合員皆様の意見でもっと使いやすく皆さん自身が動きやすいシステムにしていきましょう。本年度最後の定例会議は宜しく願いいたします。

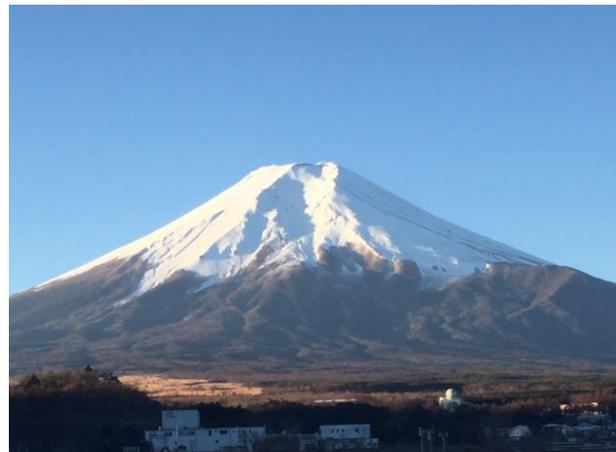
二つ目は施工管理の事です。建設業には沢山の管理項目があります。特に工程管理・安全管理・原価管理は店主だけでなく、従業員全員で真剣に取り組んでほしいです。残念な事ですが、昨年西・東地区より無断工事による事故を二件発生させてしまいました。二つの事故は事象内容が異なりますが、ルール違反である事は変わりありません。上記の工程・安全・原価管理を今一度真剣に取り組んで下さい。

『ルールを知って、ルールを守る』を徹底して下さい。

年度末を迎え仕事も過密になります。まだまだ寒いですが、体調管理をしっかりとっていただき良い一年にしてください。



元旦の家族旅行で
山中湖のホテルより富士山を望む



長野西地区



ルールの再確認を

長野西地区長 伊東 敬晃

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこと、お慶び申し上げます。

昨年4月より新体制でスタートし、定例会、保護具防具耐圧試験・測定器校正試験、電気使用安全月間行事と、順調に行事を消化できつつあり、皆様方のご協力に感謝申し上げます。

昨年を振り返ると、日本を代表するメーカーによるデータ改ざんや無資格者検査などの不祥事・コンプライアンス違反があり、新聞紙上を賑わしました。当地区においても、重大なコンプライアンス違反があり、中部電力関係者様、長野電気引込工事センター役員様にお忙しいところ、ご足労とご指導を頂き大変申し訳ございませんでした。12月4日に行われた地区定例会において、須高地区と合同開催で「受注外業務（無断工事）施工禁止の再徹底について」伊藤副代表より説明がありました。『無断工事は、作業安全、公衆保安、施工品質等の阻害とリスクならびに、法令・契約違反などお客様、社会からの信頼失墜を招く行為』とありました。お客様から求められ、断りきれずやってしまったことがかえってお客様や社会からの信頼を失うこととなります。電気使用申込み、自社・個人のランクで出来る工事施工範囲などのルールを再確認し、コンプライアンスの遵守を徹底して頂きたいと思います。

たった1社、たった1人の「まあ、いいか」という安易な行動が、ルールを守っている大多数の方に迷惑をかけることとなります。現場で働く社員の方を含め徹底してください。しかしながら、やる気はなくても「ついうっかり」「提出したと思っていた」ということがあるかもしれません。工程表にチェックを入れる、工程管理票を作成するなど、各社で工夫をして防いで頂きたいと思います。それでも万が一の場合は、速やかに中部電力、引込工事センターへ連絡してください。現場で疑問に思った時も、その場で自分で判断せずに連絡をして下さい。

ここ数年、我々を取り巻く環境が大きく変わってきていると思います。コンプライアンスに対する社会の視線はもとより、電力の自由化・分社化に対応するためのシステムの変更、電気引込工事センターができ、インターネット申込になるなどしました。環境の変化に対応しないといけません。今年は戌年です。戌のように環境に対応して、雪の上でも駆け回っていきたくと思います。



最後になりましたが、本年も皆様方にとって良い年となりますよう心より祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。

チームワークの 素晴らしさ

更埴地区



更埴地区長 酒井 重喜

「第35回引込および内線工事技能オリンピック長野県大会」は、2連覇の後ということもあり、「今回も優勝」という多くの期待を背負っての出場となるので、選手選考の段階から大変難しいだろうと感じていました。しかし全会員に募った結果、3社が手を挙げてくれました。選手は伊東隆太君（株式会社寺澤電業社）・高木健吾君（株式会社KDK）・山本達也君（賛宝電気株式会社）の3名です。思いのほか選手選考はスムーズに決まりました。しかし、大変だったのはここからでした。私自身、オリンピック大会の経験もなく何からどう手をつけていいのかわからない上に3名の選手も大会自体が理解できず不安を抱いての訓練スタートだったのです。



まずは中部電力篠ノ井営業所内でオリエンテーション。そこでは、多くの方々の教えと前回出場選手の協力、訓練要点や訓練のDVDの視聴等で学び、緊張が少しずつほぐれていきました。7月初旬から始まった訓練は中部電力須坂訓練所に決まり、長野県大会に挑む事となりました。初めは大きな声も出ず、時間内完成もとても難しいものでした。しかし大勢の方から激励とアドバイスをいただき、週2日間の実技訓練と休日返上での学科訓練をおよそ3ヶ月繰り返して、大会当日は「県大会を勝ち抜き連合大会に行く」という自信をもって大会に臨みました。

しかし長野県大会当日、訓練中では考えられない作業手順の違い・不安全作業・未完成と、予想外のミスが出てしまいました。大会は残念な結果で終わりましたが、得たものは多かったと思います。参加選手の中でも平均年齢が一番低かった選手たちの頑張り、とても素晴らしいものでした。きっとこの経験は今後、必ずどこかで役立っていくものと思います。そして、私自身も県大会を突破することを目指し、一つの目標に向かってみんなで協力し合うというチームワークの素晴らしさに感激しました。

この大会『優勝するぞ』という周囲の期待も多い中、ご支援・激励又教えを沢山頂いた大会でありました。しかしこの大会結果を一番悔しがったのは選手です。更なる挑戦をしたいとも言っていました。選手をはじめ協力していただいた皆様、また最後までご指導して下さいました先生方、本当にありがとうございました。

この大会『優勝するぞ』という周囲の期待も多い中、ご支援・激励又教えを沢山頂いた大会でありました。しかしこの大会結果を一番悔しがったのは選手です。更なる挑戦をしたいとも言っていました。選手をはじめ協力していただいた皆様、また最後までご指導して下さいました先生方、本当にありがとうございました。

須高地区



現場パトロールを 実現場で実施

須高地区長 竹前 廣克



明けましておめでとうございます。
元旦に町内の神社・松葉の地蔵・米子不動へ家族で初詣に行きました。天気が良く、多くの参拝客で混んでおりました。私は家族の健康をお願いしました。

さて、須高地区平成29年度下期事業の安全パトロールを総務委員会の担当で実施しました。現場パトロール2店は10月31日(火)に実施、内容ですが2店とも引込工事はセンターに依頼し

てあり、計器の取付作業の状況を確認しました。天候もよく作業状況も良好でした。現場パトロールはここ何年か、中部電力須坂訓練所を借りて構内で実施しておりましたので、実現場で実施できたことがとても良かったと思います。

店舗パトロールは12月12日(火)に8店を2班で廻り、届け出の標識の整備・記録類の保管・工具類の保管状況を確認しました。パトロール状況の報告会で、どこの店舗も整理・整頓がされていたと報告されていました。風が冷たく寒い日でしたが総務委員会の皆様大変ご苦労様でした。

1月の地区定例会は交通安全講話・新年会を、1月18日(木)に予定しています。3月は経済組織委員会で耐圧試験があります。今回より試験の実施状況が変わりますので、委員会

須高地区 現場パトロールの様子



からの案内をよく確認してください。

また『第33回引込および内線工事技能オリンピック大会（連合大会）』優勝旗の返還に伴い、中部電気工事協力会連合会からレプリカを記念にいただきました。訓練を支えた会員の皆様・中部電力様・センターの関係者様・訓練を頑張って結果を出した選手たち、全員のよき思い出になります。



中村で
ございます



引込線および内線工事

「安全・品質管理体制」の展開について

合同会社長野電気引込工事センター
センター長 中村 和久

今回、発行された長野支部通信の地区だよりの中で、須高地区の現場パトロールの内容とその様子の写真が掲載されましたので、センター事務局より改めて周知をさせていただきます。

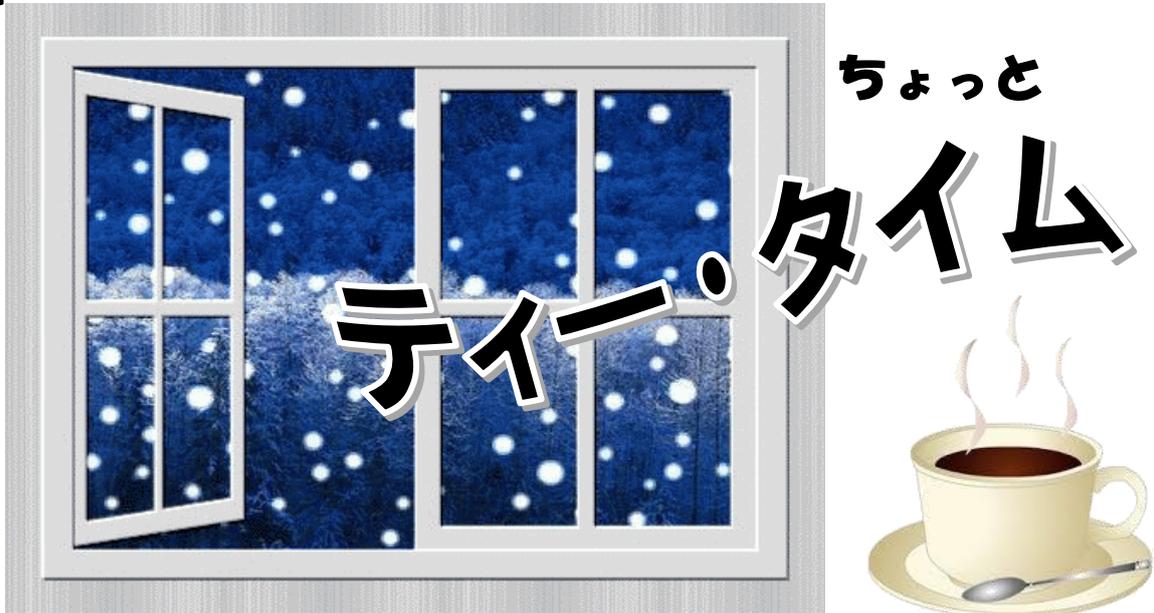
平成29年4月に制定された題記体制は、従来の安全に軸足を置いた取組みに加え品質管理も重要であるとの認識から「安全」「品質」を両輪とした取組みのことで、各地区におかれましては、現場パトロール・店舗パトロールの年間計画に基づき役員が中心となり積極的な取組みをお願いします。

その為には、対象となる協力店のご理解とご協力が必要となりますので宜しく願いいたします。

なお、平成29年度パトロールの進捗状況につきましては、順調に実施されていることを併せてご報告させていただきます。

Tea Time

長野支部版 / スピーカーズ・コーナー



豊かな人生コミュニケーション

更埴地区 峯村 孝則（株式会社峰電舎）

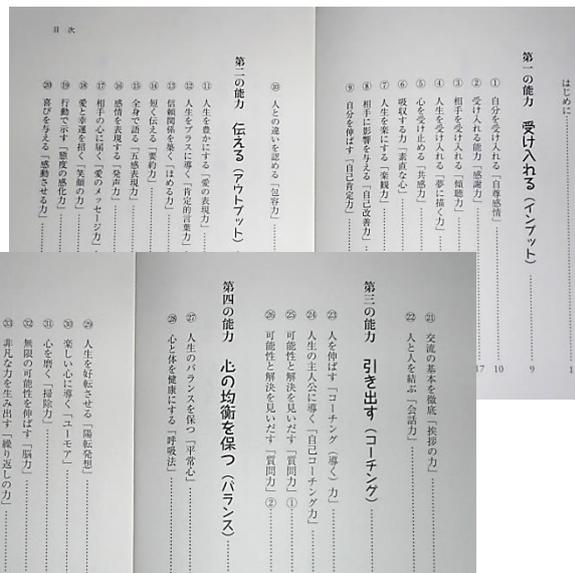
支部通信の原稿依頼ですか!?!?・・・どうしようかな～参った。特に特にネタが無い、弱ったと思ったところ、今の社会や人間関係について少し思うことをこの本を通して書きたいと思います。

最近「無縁社会」という言葉を聞きます。人間関係が希薄になり、孤独な人が多くなってきた表れだと思います。本来は、家族の心の絆、氏族との心の絆、地域社会との密接な繋がりがあってこそ、幸福な人生を過ごすことが出来るのではないのでしょうか。しかし誰もがそのことは知っています。知っていたとしても人間関係の難しさに葛藤したり、傷ついたり、ストレスになっている人が多いものです。それを乗り越えて「愛の関係性」が作られたら良いのですが、現状は消極的に避けてしまったり開き直ったりしてしまうのではないのでしょうか。それは人間関係の法則や秘訣を知らず、自分なりの人生を歩もうとするからとも言えます。

春夏秋冬という季節の流れは、いつになっても変わりません。私は「秋」が好きだからといって秋の次にもう一度秋が来てほしいと願っても、当然「冬」が来るのです。自然界が一つの原理原則に基づいて運行される様に、私たち人間も原理原則に基づいた生き方が

必要ではないか。人間関係の法則や原理原則を知ったら、心が整理され軽くなり心が嬉しくすっきりとなり、生きる力や愛する力がわいてくるのではないのでしょうか。私も社会人になってから 30 年余り経ちますが、人間関係で悩んできました。「どうしたらいいのだろうか?」という疑問からこの本に会いました。

この本の内容の中で一つ「挨拶の力」を紹介します。基本は挨拶と同時に重要なものであり、徹底することで豊かなコミュニケーションの秘訣になります。「おはようございます」「ありがとうございます」「お世話様です」「こんにちわ」「こんばんは」「お先に失礼します」……いろいろな挨拶があります。挨拶の意味をよく意識して実践します。また、自分から先に挨拶をして、褒め言葉と共に挨拶するといったことが書かれていました。私もこの本を通じて、受け入れる心、心の均一を保つ、引き出す心、伝える心、この 4 つの能力を実践出来る様日々努力しています。



阿部美樹 著「幸福度アップ!4つの能力 豊かな人生コミュニケーション講座」



電子
機器

須高地区 藤沢 一也 (有限会社三高電工)

私は去年の春にやっとスマートフォンを手にいれました。愛用していたガラケーの調子が悪くなり買い替えました。買った初日に落として、「バリッ」簡単に画面が割れる。未だに私のケータイは割れたままです…。

電子書籍は急激に普及していますよね。スマホなら片手で持ってスワイプするだけでページめくりが出来るので寝ながら読めるし、暗いところだって読める。又、本棚もいらないから場所もとらない。しかし、15年間で約8000軒の書店が減少した様です。町の本屋さんが無くなるのは少し寂しい気がします。やっぱり本は「紙のページをめくる本の質感」、「分厚い本を読みきった後に感じる達成感」これがいいですね。

LINEも便利です。仲間でやり取りするのを皆で見れるし、一斉メールの様に毎回メンバーのアドレス入れて…という作業がいりません。私は地区のソフトボールの連絡網な

どもに使っています。

ある日の朝、社員からLINEが届きました。「具合が悪いから今日休ませて下さい」との事。少し時間が経つと電話がかかってきて、「今日、具合が悪いので休ませて下さい。」



ある会社の社長さんはこう言っていました。ある社員から突然LINEで「会社やめます。」こう入っていたそうです。大事な連絡をLINEで済ますなんて少し寂しい気がします…。便利すぎるLINEによって電話する機会も少なくなった気がします。

今はパソコンで資料、図面、見積書など一瞬で相手先に送れます。又、電力会社の申し込みもインターネットで出来てしまいます。とても便利です。これからも上手に電子機器と付き合っていけたらいいと思います。

2017年を振り返って

長野西地区 堀内 秀樹 (株式会社市星電気)

この支部通信を読む頃には今更と思いますが、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。2017年12月に原稿依頼を受けて何を書こうか考えていたら、正月も過ぎて締切り間近で困っています。題材は自由ということなので、個人的に2017年を振り返ってみたいと思います。

協力会が収れんし、長水地区では新しい長野西地区・長野東地区の区割りで新たに出発の年でありました。役員さんも会員さんも手さぐりで、変わる場所と変えられないところ色々あると思いますが、1年1年経験していけばより良くまわっていくのではないかと思います。

次は、各業界と建築屋さん等で旅行に行かせていただくのですが、今回熊本方面へ行かせていただき、熊本城を



見た時はテレビの向こう側のことが、現実には起こっているんだなと感じました。石垣1列で奇跡的に建っている姿をみると、地震の力はすごいんだなと改めて感じました。本城の回りは足場に囲まれ作業していますし、他はまだ手つかずであったので、復興するのに、大変な時間と労力が必要だなと感じました。

以上抜粋して書きました。毎年思うのですが、1年が過ぎていくのが早かった気がします。いろいろありましたが、トータル的には良い年であったと思います。今年も、忙しい中にもいろいろ経験して、無事に過ごせたらいいと思います。



中野・飯山地区

村石 桂太郎 (有限会社越後屋電器商会)

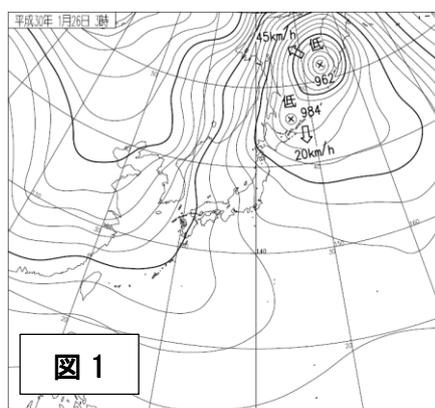


図1

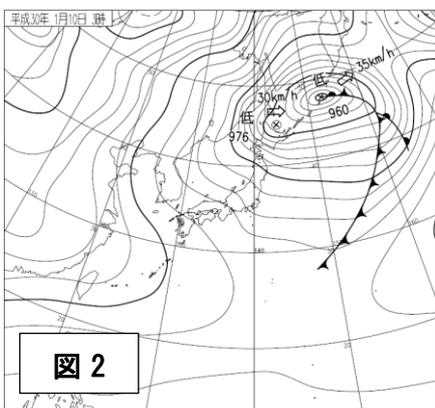


図2

毎年の事だが豪雪地飯山に住んでいると、冬になると毎日気になるのが降雪の事。「明日の朝はどれくらい積もるのかな?」「いつやむのかな?」など雪かきをしながら、ご近所さんとの話もそんな会話になっています。温暖化の影響か平成18年の豪雪以来、積雪量は

少なくなってきていますが、雪の降り方でここ最近の傾向は、夏に集中豪雨で被害が出るのと一緒で、1日24時間で大量の雪が降る傾向にあります。最近でも昨年の12月末にも1日で一気に80cmの降雪、今年になって1月2日、3日と60cmの降雪がありとても驚きました。

インターネットの普及で予想天気図が簡単に見られるようになり、朝起きて見るのが冬の日課になっています。「西高東低の冬型」「北陸、関東甲信の山沿いでは大雪が予想される」など、これから降るかなと思い

ながら天気図を見ると大体降り方の予想がつくようになってきました。飯山にたくさんの降雪をもたらすのは、北又は北北東位からまっすぐ等圧線が伸びているパターン(図1)。ちょっと北西の方に等圧線が斜めに伸びている場合は、飯山には意外に降雪が無く大北地方に大雪をもたらすパターン(図2)。天気図を見ながら駐車場のロードヒーティングのスイッチを入れたり、切ったりする日が続きます。いずれにせよ雪国は除雪や消雪で大きな経費がかかります。

今年も2月に「いいやま雪まつり」が行われます。雪に克ち、雪を利用し、雪と親しむ

として始まった雪まつりも今年で36回を数えます。私も学生を終わり、飯山に帰ってきた年の第3回から商工会議所青年部の実行委員、卒業後は実行委員OBとして33年間雪



まつりに関わってきました。今年も会場の仮設電気工事と当日は売店で「やきとり」を焼く予定です。

同じ時期、飯山の郊外の信濃平地区では「かまくら祭り」が行われます。こちらは雪のかまくらが20体以上作られ、その中で名物の「のろし鍋」が食べられるイベントですが、リタイヤした65才以上の元気なおじさんたち十数名で、正月明けからかまくらを製作したりお祭りを運営したりしています。50代後半になり年々雪と親しむ気持ちは薄らいでいますが、「いいやま雪まつり」「かまくら祭り」で飯山を訪れてくれる人たちが楽しんでいただけるように頑張ろうと思います。



私事だが、昨年とうとう還暦を迎えた。還暦=60歳のお祝いというのはわかる。しかし、具体的に還暦とはどういうことなのだろう、何がめでたいのだろう、ふと思い調べてみた。本やインターネットを使い、色々見てみるとなかなか面白いことが書いてあった。以下は大まかな内容らしい。

干支は別名を十干十二支(じっかんじゅうにし)といい、「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」という10種類の「干」と、「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」という12種類の「支」を組み合わせて使います。暦に使うときは十干と十二支を組み合わせて「乙未」「丙午」などとといいます。

この十干と十二支の組み合わせには60通りがあり、次にもういちど同じ組み合わせが巡ってくるのが60年後になります。「60年で十干十二支が一巡してもとの暦に還(かえ)る」ことから、60歳の誕生日を「暦が一巡するまで長生きした」ということで祝うようになりました。

昔の人々は60歳まで生きれば大往生と言われてきた。しかし、平均寿命が長くなっている現代、還暦はただの通過点であり、その先の古希、喜寿、傘寿等の長寿祝いの方に重きを置くようになった。私自身、子供や孫が還暦を祝ってくれたものの、あまり長生きしたという実感がわからないというのが本音である。ちなみに、自分が両親にお祝いとして着せた赤い頭巾にちゃんちゃんこ。それはいらないと家族に言いました。若い頃はまだまだ先の話だと思っていたものの、その時になるのは本当に早い。あっという間の出来事だ。

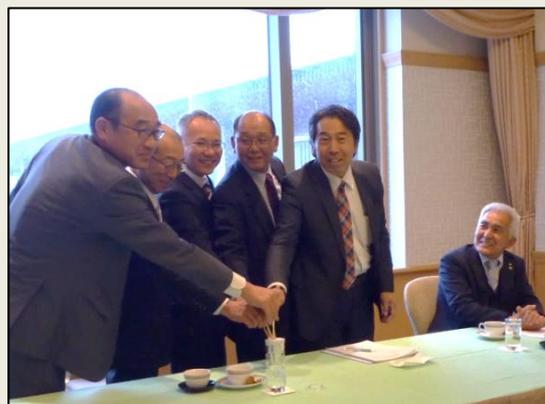
人生60年…という言葉がある。人間、60年も生きれば足腰は弱くなるし、持病の一つや二つはある。物忘れもひどくなり、あの一、あれさ一、とか…すぐに言葉が出てこない。薬は手放せなくなるし、飲む量も増える一方。本当は、もう仕事だって辞めてゆっくり過ごしたいと思っているくらいなのだ。

しかし、還暦には「生まれ直し」や「第二の人生の始まり」という意味もあるらしい。それならば、そういう気持ちで仕事やプライベートをもう少し頑張ってみるのもありかもしれない。どうせなら、ついでに何か新しいことでも始めてみるか。そんな気持ちを新たにした新年である。

次回の技能オリンピックは？

地区再編に伴い、技能オリンピックの担当地区が新たに決定しました。右記の順で回りますので、よろしくお願い致します。

開催年度	担当地区
2019年	長野西地区
2021年	更埴地区
2023年	長野東地区
2025年	中野・飯山地区
2027年	須高地区



くじ引きで円満に・・・



第35回 引込および内線工事

技能オリンピック

長野県大会



班 長

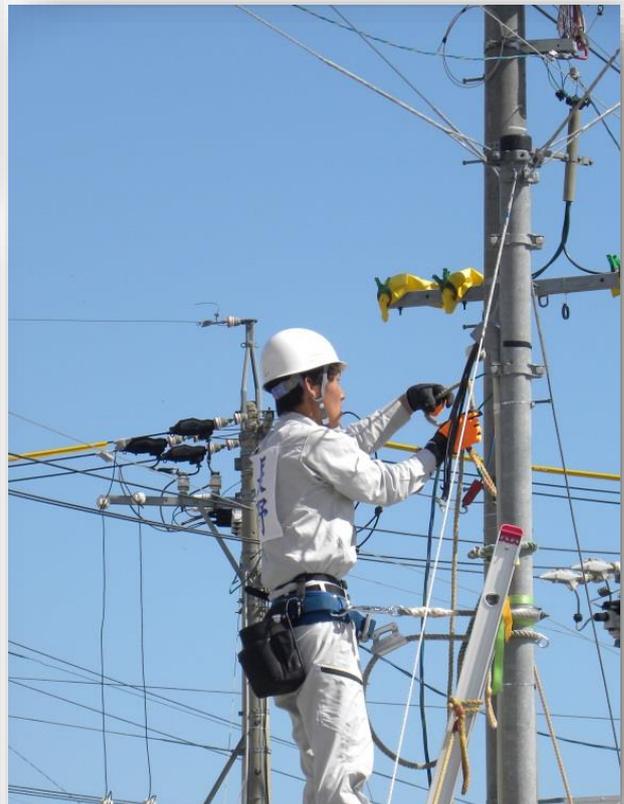
伊東隆太さん 25歳
(株式会社寺澤電業社)

高木健悟さん 23歳
(株式会社KDK)

山本達也さん 24歳
(賛宝電気株式会社)

開催日：平成29年9月21日(木)

場 所：中部電力株式会社吉田訓練所



「共同作業」

株式会社寺澤電業社 伊東 隆太

技能オリンピック大会への出場が決まり、顔合わせからすぐに練習が始まりました。最初は「班長」という立場で自分の作業をしながら周りを監督するという事に慣れていませんでした。作業場の整理整頓、電線の先端処理、また道路横断工事における指示と、徐々に慣れていきました。

しばらく課題をこなしていると、何とか時間内に完成するようになりました。細かいところを直し実技はいいものになりましたが、学科の模擬問題成績があまりよろしくなく、訓練後に中部電力篠ノ井営業所で自習をさせていただきました。あれほど勉強したのは、人生で初めてかもしれません。気合を入れて勉強し、学科にも自信を持って大会前日を迎えました。

長野県大会当日では、いつもの訓練所の練習とは違う緊張感を味わい、競技開始前に行う材料検収もまともにできませんでしたが、開始と同時にスイッチがはいりました。しかし、いつもの余裕がなく、完成はしませんでした。それでも接遇・学科と自信を持って臨み、大会が終了しました。

約2ヶ月半という長いような短いような期間でしたが、本大会に当たり熱心なご指導をしてくださりました中部電力の皆さま、毎日欠かさず面倒をみてくださりました更埴地区の皆さま、このような機会を与えてくださった社長に感謝致します。ありがとうございました。



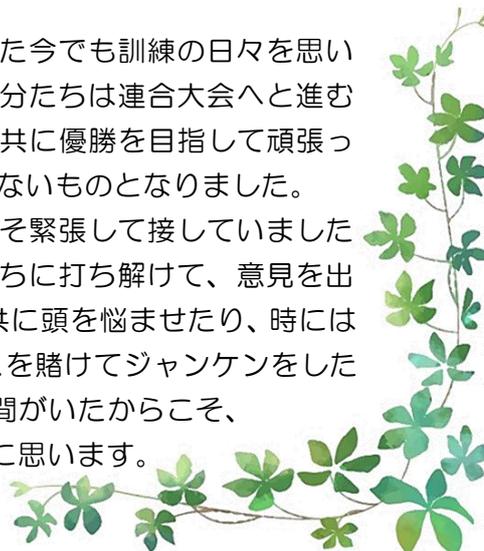
「感謝」

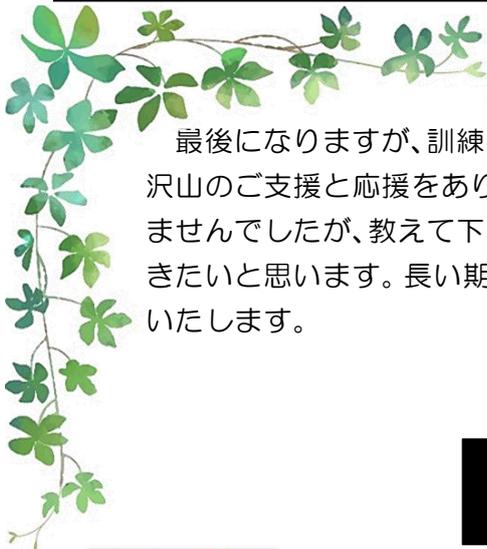
株式会社KDK 高木 健悟



県大会が終わり、しばらく経った今でも訓練の日々を思い出します。県大会の結果として自分たちは連合大会へと進む事ができませんでしたが、仲間と共に優勝を目指して頑張った日々は自分にとってかけがえのないものとなりました。

メンバーの二人とは最初の頃こそ緊張して接していましたが、歳が近いこともあってそのうちに打ち解けて、意見を出し合いながら実技のタイムに一喜一憂し、学科では共に頭を悩ませたり、時には衝突しそうになったりもしました。暑い日にはアイス賭けてジャンケンをしたりしてチームワークを深めて来ました。そうした仲間がいたからこそ、きつい実技や苦手な学科も頑張ることができたように思います。





こうした経験と悔しさを活かして、これからの仕事に取り組んでいきたいと思えます。

最後になりますが、訓練に協力して下さった中部電力ならびに更埴地区の皆様、沢山のご支援と応援をありがとうございました。良い結果では終わることができませんでしたが、教えて下さった技術と知識を忘れずに今後の仕事に役立てていきたいと思えます。長い期間、快く訓練に送り出してくれた会社の皆さんに感謝いたします。

「仲間」

賛宝電気株式会社 山本 達也



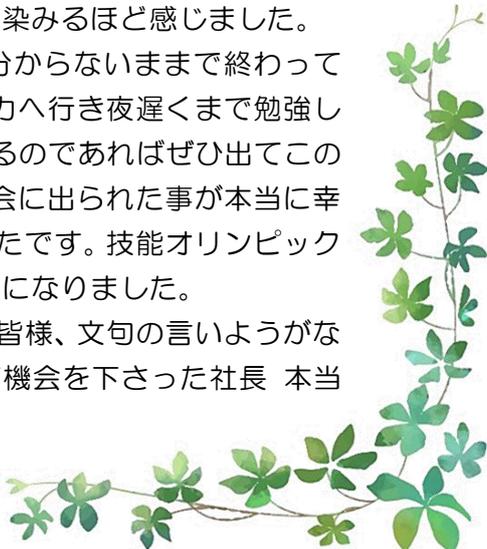
技能オリンピックという言葉聞いて最初は何の事だか分かりませんでした。オリエンテーションでDVDを見た時は、驚きとこんな事が自分達に出来るのか？と疑問を思うようになりました。そして初日の実技を迎え講師の方に三人でやってみるように言われ、やってみたら、なんと3時間以上かかってしまい心が折れそうになりました。

その日以降、講師の方に手とり足とりと教えてもらい少しずつ上達し、ミスも少なくなりタイムも切れるようになりました。暗かったトンネルにわずかな光が見えたような気持ちで嬉しかったです。

県大会当日は、良い緊張感で朝を迎え『優勝』という二文字しか頭にありませんでした。そして競技が始まった瞬間に会場の空気に呑まれ本来発揮出来る力の半分も出せず、トラブル続きで完成も出来なくて、あっという間に100分が終わってしまいました。人生の中でこんなに100分が早く感じた事はありません。実技が終わっても三人とも納得がいかず、もう一度やらせて下さいという気持ちでいっぱいでした。

仲間と共に学んだ3カ月間は本当に沢山の事を経験しました。仲間の大切さやチームワークなど、決して一人では出来ないという事が身に染みるほど感じました。技能オリンピックに出ていなければ分からない事が分からないままで終わっていたかもしれません。実技の練習後に、三人で中部電力へ行き夜遅くまで勉強した事も今では良い思い出です。もし2年後も出られるのであればぜひ出てこの屈辱を晴らしたいと思えます。最高の仲間と練習や大会に出られた事が本当に幸せでした。本当に技能オリンピックに出られて良かったです。技能オリンピックを通して学んだ事は、一生の宝であり、一生の思い出になりました。

最後になりますが、御指導をして頂いた中部電力の皆様、文句の言いようがない練習環境を作って下さった更埴地区の皆様、そして機会を下さった社長 本当に有難う御座いました。



技能オリンピック 店主からの MESSAGE

大いなる成長に期待

株式会社寺澤電業社
代表取締役 寺 沢 昇

今大会は更埴地区が当番ということであったが、丁度3社の自主申請があり、新編制チームが6月にでき、7・8・9月の暑い夏の間延日数30日間の特訓(実技・学科)の日々が実施されました。選手は皆平成生まれで、電工としての経験は4～5年。体格の良い若者たちです。訓練は、中部電力篠ノ井営業所配電課の皆様と更埴地区の当番制の綿密な訓練日程表により、日々充実しておりました。私達工事業社の技術の伝承は先輩より後輩へと、見て聞いて現場で覚えてゆくのが主です。普段は年1回の昇柱訓練のみです。学科の個人目標は第1種電気工事士合格です。特訓は須坂訓練所にて丸一日、約30日間でした。その間に開校式と実技の披露宴2回があり、皆の前評判ではこれなら大丈夫という好評を頂きました。

だが・・・。

当日の9月21日(木)快晴の中、早朝より中電吉田訓練所に県下5地区の精鋭チームが集合し、いよいよ栄光の大会の火ぶたが切られました。開会式・実技(100分)・接遇(30分)午後は学科競技実技(30分)そして総合審査・集計と続き15時より表彰式及び閉会式と、長い長い一日が続きました。総人数は300人以上、テント数10張以上の賑やかさでした。各々制服の色が異なるチームの競技内容が全体的に良く見渡せました。班長(指示・安全・監督)、引込柱へのDV線・WHM・盤取付の係、そしてボードへの内線工事の担当。3人のチームワークとスピードと正確性・安全性・出来映えが問われています。採点は実技500点満点で減点法です。各チームはまるで戦場の戦士の様にきびきびした行動と額に汗をする緊張した実戦でした。



最終結果は、優勝は諏訪、準優勝は上田という結果で、長野はお聞きの通りの成績でした。未工事有りで採点にならずです。当日に実力が100%発揮出来ませんでした。やはり実技の世界は経験が一番ものをいう世界なのでしょう。しかし3選手はベストを尽くして頑張ったのです。今後各々が電工として立派に成長することを期待します。人生において「下みて暮らし上みて学べ」で、世の中には上には上があるのです。再挑戦の負けず魂を忘れずに、今回の経験を人生の生きる糧として下さい。

今大会において多数の皆様方にお世話になり、有難く厚くお礼を申し上げます。人生20代は、社会人としての基礎を作る一番重要な時なのです。「鉄は熱いうちに打て」と格言です。今後の大いなる成長を望み一人前の大丈夫としての電工と成ることを約束します。

技能オリンピック
店主からの MESSAGE

長野県大会が終わって

株式会社 K D K
代表取締役 小林 学

悪夢「・・・・・・・・・・」

平成 29 年 9 月 21 日（木）快晴。すっきりと晴れ上がり絶好の秋日和。強い日差しの中での絶好の大会日和だった。

7 月 4 日から伊東（寺沢電業社）・高木（KDK）・山本（賛宝電気）は、実技訓練・学科訓練を行った。当初は実技を中心に訓練を行い、後半は学科の補習も行なってきた。訓練では過去問題を中心に行い、時間内に仕上げられ出来栄も及第点を取れるように仕上がっていた。3 名とも経験・年齢ともほぼ同じであり、チームワークも良好であった。役員を始めとして送り出しの会社としても、“これならば”という思いや期待もあった。

しかし、本大会の当日では、周囲の期待と本人たちの意気込みが空回りしてしまい、経験不足と若さが出てしまったように思われる。大会での結果は別として、選手たちは訓練前と比べ他社の社員と訓練を受け競いあうことにより、技術的にも人間の幅としても大きな成長を得ることができたと思われる。選手たちにはこの経験を生かし更に成長することを期待している。

結果だけというならば、悪夢「・・・・・・・・・・」としか言えないものであったが、本訓練を通して、店主側からも関係して頂いた皆様に深く感謝いたします。

最後に、本大会でお世話になりました中部電力(株)篠ノ井営業所また中部電力(株)各営業所様・引込工事センターの皆様・更埴地区の会員の皆様、及び、選手指導にご尽力を頂きました小林主任・松本班長を始めとする篠ノ井営業所の担当の皆様・地区役員の皆様にお礼を申し上げたいと思います。成果を得られませんでした。選手及び他の社員の成長が著しいものであったと感謝しております。有難うございました。



技能オリンピック
店主からの MESSAGE

悔しさを力に変えて

賛宝電気株式会社

代表取締役 蟹澤 佳治

入社3年目、23歳の山本君にオリンピック出場の話を持ちかけたら、不安そうな顔をしていたが「頑張ります」と言って承諾してくれた。6月のオリエンテーションでは、前回大会のDVDを見ていた選手達は、軍隊のような機敏な動きに圧倒されていた。訓練が始まった当初は、戸惑い何をどうすればいいのか分からない様子だったが、訓練を重ねていくと、中部電力の講師の先生に相談しながら自分達で考え、班長を中心にしたチームとして動くようになっていった。日に日に成長していく選手達の姿に、私も役員として立会いが楽しくなり期待も増していった。

7月下旬、訓練に慣れてきた頃、軽く暑気払いを行った。ここで若い3人の個性が炸裂して、楽しい飲み会になった。お盆明けに行われた1回目の披露会では、中部電力関係者の方々、引込工事センター役員の皆様方の見守る中、堂々としていて緊張感はまったく伝わってこなかった。(後で聞いたところ、本人たちはガチガチに緊張していたらしい)9月の披露会時には、見学に来て頂いた大勢の皆様が意見を言うてくださったので、選手達は県大会に向けて増々工夫をしながら、時間短縮に力が入った訓練をすることができたと思う。

県大会の朝は乗り合いの為、運動公園に集合した。早々来ている二人と話をしながらもうひとりを待っていると、マイペースなひとりが待ち合わせ時間ぎりぎりにタイヤを鳴らしながら登場した。(当社にも時間ぎりぎりに行動する社員がいるが、その選手も大物なのか・・・?)

大会会場には、地元開催ともあり大勢の方々長野チームの応援に来てくださった。安全ミーティングが始まると、選手達の声が上がって、緊張している様子が伝わってきた。競技開始から半分の50分ほど経過した頃になると不穏な空気が流れだし、「大丈夫か?終わるのか?」そんな声も聞こえてきたが、『大丈夫!あいつらならなんとかやりきる!』と信じて選手を見守った。しかし、出場チームで平均年齢が1番若かった3人は会場の雰囲気にもまれてしまい、訓練の成果を半分も出せずにタイムリミットとなってしまった。

後日開催された反省会で3人は、中部電力の指導をして頂いた方々とお酒を飲みながら悔しがって涙を流し、うさを晴らすように誘った2次会では、元気を振るいだしカラオケで泣きながら歌う姿に、3カ月間を振り返り 私まで胸がいっぱいになりました。今回の大会出場で得た経験と、教えて頂いた技術、安全性を職場でも活かし、後輩にも伝えていき共に成長していくものと期待しています。

今回技能オリンピック出場に携わってくださった皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



1月31日 総務委員会 長野電気会館に於いて

明けましておめでとうございます。
皆様のおかげをもちまして、支部通信73号の発行となりました。

お忙しい中、寄稿戴き誠にありがとうございました。
技能オリンピック開催年にあたり担当されました更埴地区・選手の皆様・中部電力様・関係役員様お疲れ様でした。

新年を迎え、寒さも厳しさを増してきました健康に留意されますように皆様のご健勝とご多幸を祈り、編集後記とします。

総務委員長 竹前 廣克

編 集 後 記

編 集

担当副支部長 高津 和忠
総務委員長 竹前 廣克
総務副委員長 伊東 敬晃

総務委員 渡部 進
村石桂太郎
蟹澤 桂治
(事務局 倉嶋)

「見える化」と「機器の自動制御」による省エネ

HEMS

ZEHにも欠かせない自動制御
電力自由化時代の強い味方



お客様にご満足いただける
より安心安全な環境づくりをお手伝いします

ながの
電材会

大沢電機株式会社

昭和電機産業株式会社

株式会社デンセン

株式会社ニッセー電機

2018



(五十音順)